

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【公開番号】特開2023-66285(P2023-66285A)
 【公開日】令和5年5月15日(2023.5.15)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-088
 【出願番号】特願2021-176922(P2021-176922)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 2 1 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

H 0 1 L 2 1 / 2 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 L 2 1 / 0 2 B

H 0 1 L 2 1 / 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月23日(2024.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0143

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0143】

図6.4から判るように実施例での実施の場合、いずれも90%以上の剥離良品面積を示す。一方、比較例において、歩留まりは大きく低下している。この歩留まりの差は、素子分離溝を有するゆえの犠牲層エッチング時間の差異にも起因している。分離溝を設けたいずれも実施例の場合も、犠牲層エッチング時間は1時間以内である。一方、比較例において、犠牲層エッチング時間は室温において数十時間を要する。

30

40

50